

第252回 益田掃除に学ぶ会 お掃除通信

開催場所 益田小学校 校長 佐々木 直
参加者数 14名 教頭 澤江 健

1、代表世話人挨拶 山崎純
掃除を続けることで益田市の小中学校のトイレが綺麗になればと願っております。何とか300回を目指して頑張りたいと思っております。今日も明るく楽しく掃除をしたいと思いますが、毎回のように話しておりますが、明日子供さんたちに喜んで頂けるように綺麗にしましょう
2、体験感想発表
・佐々木 昇さん(浜田市)
今日はいろいろな方に参加して頂いて、賑やかで楽しかったです。お願いしたいのは毎回是非ご参加下さい。会も盛り上がりますし、学校のトイレも綺麗になりますのでよろしく願います
・山崎 純さん(益田市・キヌヤ)
いつものメンバーだけでなく、新しい方々と一緒に掃除をしますと楽しく活気を感じます。大谷さん親子さんも久々に参加頂き、唯くんが大きくなって驚きましたし喜んでおります。こうして活力を分かち合いたいと思っております
・藤井 悠歩さん(山口銀行益田支店)
今日は初めて参加しました。益田小は母校で15年振りにきました。こんなにトイレを綺麗に磨くこともなく初めての体験でいい勉強になりました。また機会がありましたら参加したいと思っております
・中島 明洋さん(中西中2年生)
今までは尿漉しとかスリッパをしていましたが、今日は大便器で思った以上に大変だったです

2、体験感想発表
・岩原 伸治さん(山口銀行益田支店長)
久しぶりの参加で謙虚な気持ちを思い出させて頂きました 行員は全員参加させて頂きましたが、この度藤井君が転勤で益田に配属になりましたので一緒に参加しました。毎回毎回新しい気付きを頂いております
・佐々木 直さん(益田小学校校長)
今日で確か4回目の参加になります。最後に手洗いをしましたが手順が間違っていて、掃除も覚えているようで忘れていました 学校関係の方にもお誘いしたのですが、参加者がおられなくて申し訳なく思っております。今日は本当にありがとうございました
・青木 邦江さん(益田市)
以前年次大会の高津小で参加して驚き感動して、また益田小での年次大会で鍵山相談役にお会いし、その後事情有って大阪に移りましたが、大阪でも何度か相談役とご縁を頂きました 益田ももっと活発に活動されてるかと思いましたが、人数も少ないので一人づつでも増やしていくお手伝いをしたいと思います
・竹内 千代乃さん(益田市)
今日初めて参加しましたが、いい勉強をさせて頂きました また機会があればぜひ参加したいと思っております
・大谷 宏明さん(益田市・タイピック)
上の子が1年生の時に初めて参加しましたが、その時は臭いがきつくて大変でしたが、今日は臭いもなく綺麗でした。尿漉しを一人で担当して孤独でしたが、子供達が別々にやってくれて成長を感じました
・大谷 凌くん(益田小学校5年生)
今日は一人で小便器をきれいにできて良かった

4、鍵山秀三郎相談役 一日一話より抜粋
小悪を為さず
社会情勢を憂えて、声高に問題点を指摘する人は数多くいます しかし、いくら言葉で立派なことを唱えても、何の問題解決にはなりません。 たとえそれがどんなに小さな取るに足らないことであっても、具体的に実行していく。この実践力がなければすべて空論に終わってしまいます。大切なのは自らが「小善為し、小悪を為さず」という精神です
不合理を合理的に
仕事も人生も、合理的なことばかりがあるわけではありません。むしろ、現実是不合理なことの方が圧倒的に多いのではないのでしょうか。だからといって、不合理なことを不合理なままにしておくのであればそこに努力も工夫も必要ないことになります。不合理なことを何とかして合理的に変えようとしたときに人間は努力もし、工夫をするものです
5、森信三先生の教え 一語千鈞より
人生生死あり
・人間関係……与えられた人と人との縁……をよく噛みしめたら、必ずやそこには謝念が湧いてくる これ世を幸せに生きる最大の秘訣といってよい
・九十九人が、川の向こう岸で騒いでいようと、自分一人はスタスタとわが志したこちらの側の川岸をわき眼もふらず川上に向かって歩き通す底の覚悟がなくてはなるまい
・人間何事もまず十年の辛抱が肝要 そしてその間抜くべからず、奪うべからずは基礎工事なり。されば黙々十年の努力によりて一応はことは成るべしという
・自分より遥かに下位の者にも、敬意を失わざるにいたって、初めて人間も一人前となる
6・平澤 興先生語録より
・人格とは全人間的存在の姿をいうのである
・知らぬ間に内臓が働いてくれるのは、平凡なことであろう。しかし、有難いなあ！ 生かされて生きておることは……
・人間の生命は自然より生まれたものである
・わからぬことが多くなったのは、無限の生物の世界が現われてきたからである
・良いとか悪いとかは簡単なようだが、なかなか難しい。自分の経験からくる判断だけに執られてはならぬ